

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（生活科学学科 食物栄養専攻）

講座の名称	生活科学学科 食物栄養専攻													R6.4			
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 )													② 通信 スクーリング(回数 回)			
指定講座番号(15桁)	2	0	1	0	0	1	0	-	1	8	1	0	0	1	1	-	5
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間					過去一 年の講 座実績		入講者数(41人)					修了者数 (38人)				
年月日	R9年3月31日まで																
訓練期間	24ヶ月							総訓練時間					1620時間				
1. 教育訓練目標																	
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 栄養士 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 栄養教諭二種免許状、フードスペシャリスト、社会福祉主事任用資格、介護福祉士実務者研修修了、準学校心理士も取得可能											
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省											
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						本学に2年間以上在籍し、卒業単位(64単位以上)を修得し卒業認定されること、かつ栄養士法施行規則第9条別表第1に定める科目及び単位を修得すること。											
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						職種: 栄養士・調理員 職務: 給食管理(献立作成、発注、衛生管理)、栄養管理(食事調査、栄養指導)・大量調理 保育園、幼稚園、小中学校、特別養護老人ホーム、病院、老人保健施設等で栄養士、調理員として活用され、給食管理及び栄養管理業を担当している。											
2. 教育訓練の内容																	
教科 (カリキュラム)						時間						使用教材名					
学生便覧・授業概要 参照																	
生活科学学科食物栄養専攻 基礎教養科目						270											
生活科学学科食物栄養専攻科目						1350											
						1620											
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)																	
①受講するに当たって必要な実務経験等						なし											
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						高等学校卒業程度											
③その他																	

[ 特記事項 ]

※本書の講座実績は、令和4年度の開講状況をもとに作成しています。

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（生活科学学科 食物栄養専攻）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 前年度の修了者数	38	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	41	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	32	人	受験率(③/②)	78.0	%
④ ③のうち合格者数	32	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	35	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。					
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数		35	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人		
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	35	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	8	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	34
	2 希望の職種・業界で就職できる	19	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	5	人		
	5 その他の効果	1	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	32	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	35
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	3	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	12	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	35
	2 おおむね満足	23	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
<b>(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)</b>					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出、卒業単位を満たすこと				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（生活科学学科 食物栄養専攻）

6. 受講効果の把握方法														
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。													
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出													
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本学に2年間以上在籍し、卒業単位(64単位以上)を修得し卒業認定されること、かつ栄養士法施行規則第9条別表第1に定める科目及び単位を修得すること。													
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業要件を満たし、資格取得に必要な科目を修得すること。													
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法														
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	オフィスアワーを設け、授業時間以外にも適宜個別指導を行っている。また、教員内で学生の状況を共有し、共通認識をもって指導にあたっている。													
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格取得のために上記7(1)を実施している。就職面では基礎教養科目「キャリアデザイン」の開講や年に数回、キャリアサポートセミナーを開催している。また、学生課による求人情報の提供やメール配信、就職相談を随時受け付けている。													
8. その他の事項														
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人高松学園 (代表者名: 高松 彰充)													
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460											
施設名称及び施設長名	学校法人高松学園 飯田短期大学		(施設長: 高松 彰充)											
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460											
苦情受付者	氏名 矢澤 庸徳 所属 事務局長	事務担当者	氏名 新海 シズ 所属 地域連携センター											
連絡先	TEL 0265-22-4460	連絡先	TEL 0265-22-4467											
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 2,250,000 円													
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	250,000 円											
	② 分割払 ③ 両方可	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	2,000,000 円 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>第1期</td><td>500,000 円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td>500,000 円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td>500,000 円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td>500,000 円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td>円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td>円</td></tr> </table> (うち、必須教材費 円)	第1期	500,000 円	第2期	500,000 円	第3期	500,000 円	第4期	500,000 円	第5期	円	第6期
第1期	500,000 円													
第2期	500,000 円													
第3期	500,000 円													
第4期	500,000 円													
第5期	円													
第6期	円													
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 169,880 円													
	① 任意の教材費 (税込額)	82,750 円												
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)	円												
	③ 施設維持費 (税込額)	円												
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	87,130 円												
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,419,880 円											

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（幼児教育学科）

講座の名称	幼児教育学科													R6.4			
実施方法	① 通学（ <b>昼間</b> ・夜間・土日）													② 通信 スクーリング(回数 回)			
指定講座番号(15桁)	2	0	1	0	0	1	0	-	1	5	1	0	0	1	1	-	5
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間					過去一 年の講 座実績		入講者数(42人)					修了者数 (37人)				
	S42年4月1日					R9年3月31日まで											
訓練期間	24ヶ月					総訓練時間					2060時間						

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格（ 保育士 ） <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程（ ） <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム（ ） <input type="checkbox"/> 専門職大学院（ ） <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム（ ） <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格（ ） <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座（ ） <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科（ ）
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 幼稚園教諭二種、保育心理士（二種）、準学校心理士、幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格、自然体験活動指導者、ピアヘルパー、保健児童ソーシャルワーカー、社会福祉主事任用資格、知的障害者福祉司任用資格、介護福祉士実務者研修
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本学に2年間以上在籍し、卒業単位（64単位以上）を修得したことにより卒業が認定されること、かつ児童福祉法（昭和22年12月12日法律第164号）第18条の規定に基づき、厚生労働大臣が省令で定める科目及び単位を修得すること。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	保育士・幼稚園教諭・生活支援員 等 保育士、相談員等。保育所の他、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、知的障害児（者）施設、託児所、児童館等で保育士、指導員、相談員として活用される。

2. 教育訓練の内容

教科（カリキュラム）	時間	使用教材名
学生便覧・授業概要 参照		
幼児教育学科 基礎教養科目	270	
幼児教育学科 科目	1790	
	2060	

3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度
③その他	

〔特記事項〕

※本書の講座実績は、令和4年度の開講状況をもとに作成しています。

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（幼児教育学科）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 前年度の修了者数	37	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	42	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	34	人	受験率(③/②)	81.0	%
④ ③のうち合格者数	34	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	36	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。					
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数		35	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人		
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	35	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	4	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	35
	2 希望の職種・業界で就職できる	25	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	2	人		
	4 趣味・教養に役立つ	3	人		
	5 その他の効果	1	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	34	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	35
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	1	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	14	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	35
	2 おおむね満足	19	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
<b>(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)</b>					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	ペーパーテスト及び演習、卒業単位を満たすこと				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

## 飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（幼児教育学科）

<b>6. 受講効果の把握方法</b>																			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。																		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト及び演習																		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	本学に2年間以上在籍し、卒業単位（64単位以上）を修得したことにより卒業が認定されること、かつ児童福祉法（昭和22年12月12日法律第164号）第18条の規定に基づき、厚生労働大臣が省令で定める科目及び単位を修得すること。																		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと																		
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>																			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	オフィスアワーの開設など随時質問、相談の場を設け、個別の指導もできるようにしている。																		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に進路調査を行ない、希望に応じて求人情報を学生課よりメール配信している</li> <li>・キャリアセミナーを年に数回行い就活サポートを行っている</li> <li>・希望者には模擬面接を行っている</li> </ul>																		
<b>8. その他の事項</b>																			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人高松学園 <span style="float: right;">(代表者名: 高松 彰充)</span>																		
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460																
施設名称及び施設長名	学校法人高松学園 飯田短期大学		(施設長: 高松 彰充)																
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460																
苦情受付者	氏名 矢澤 庸徳 所属 事務局長	事務担当者	氏名 新海 シズ 所属 地域連携センター																
連絡先	TEL 0265-22-4460	連絡先	TEL 0265-22-4467																
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) <span style="float: right;">2,250,000 円</span>																		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)																		
① 一括払	250,000 円																		
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)																		
③ 両方可能	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: right;">2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">第1期</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">第2期</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">第3期</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">第4期</td> <td style="text-align: right;">500,000 円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">第5期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">第6期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">(うち、必須教材費</td> <td style="text-align: right;">0 円)</td> </tr> </table>				2,000,000 円	第1期	500,000 円	第2期	500,000 円	第3期	500,000 円	第4期	500,000 円	第5期	円	第6期	円	(うち、必須教材費	0 円)
	2,000,000 円																		
第1期	500,000 円																		
第2期	500,000 円																		
第3期	500,000 円																		
第4期	500,000 円																		
第5期	円																		
第6期	円																		
(うち、必須教材費	0 円)																		
2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) <span style="float: right;">280,850 円</span>																			
① 任意の教材費 (税込額) <span style="float: right;">94,820 円</span>																			
② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額) <span style="float: right;">30,000 円</span>																			
③ 施設維持費 (税込額) <span style="float: right;">0 円</span>																			
④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) <span style="float: right;">156,030 円</span>																			
3. 総額 (1+2) (税込額) <span style="float: right;">2,530,850 円</span>																			

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（専攻科 地域看護学専攻）

講座の名称	専攻科 地域看護学専攻													R6.4			
実施方法	① 通学 ( <input checked="" type="checkbox"/> 昼間・夜間・土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)																
指定講座番号(15桁)	2	0	1	0	0	1	0	-	1	5	1	0	0	2	1	-	8
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間					過去一 年の講 座実績	入講者数(15人)					修了者数(15人)					
年月日	R9年3月31日まで																
訓練期間	ヶ月						総訓練時間					840時間					
1. 教育訓練目標																	
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 保健師 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 第一種衛生管理者、養護教諭二種免許											
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省											
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						1年間在籍し、本学学則に定める授業科目および単位数を修得した者(専門教育科目35単位以上修得した者)に対して修了を認定する。											
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						保健師(都道府県・市町村・産業保健・病院健診部門・地域包括支援センター・福祉施設など)、養護教諭、以上の分野での業務で活用されている											
2. 教育訓練の内容																	
教科 (カリキュラム)						時間						使用教材名					
学生便覧・授業概要 参照																	
専攻科 地域看護学専攻科目						840											
						840											
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)																	
①受講するに当たって必要な実務経験等						なし											
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						①看護師免許取得者②大学、短期大学、専門学校において必要な科目を履修し、看護師国家試験の受験資格を有する人、または、当該受験年度においてこれに該当する見込みの人③外国人において、学校教育における15年の課程を修了した人で、その最終過程において看護に関する課程を修了した人、または、該当受験年度においてこれに該当する見込みの人											
③その他																	

〔特記事項〕

※本書の講座実績は、令和4年度の開講状況をもとに作成しています。

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（専攻科 地域看護学専攻）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 前年度の修了者数	15	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	15	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	15	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	15	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	15	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。 ※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数	12	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0			
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	13	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	12
	2 希望の職種・業界で就職できる	9	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	2	人		
	5 その他の効果	1	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	12	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	12
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	1	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	12
	2 おおむね満足	7	人		
	3 どちらとも言えない	4	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
<b>(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)</b>					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出、卒業単位を満たすこと				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					



**飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（専攻科 地域看護学専攻）**

<b>6. 受講効果の把握方法</b>			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	1年間在籍し、本学学則に定める授業科目および単位数を修得した者（専門教育科目35単位以上修得した者）に対して修了を認定する。		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと		
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問等を随時受け付け、必要に応じた個別指導を行なう。また、演習・実習においては、担当教員による個別指導を行っている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格取得のために、教員からの試験勉強に関する講義・助言及び模試の実施。就職については、学生課による求人情報の提供やメール配信、就職相談を随時受け付けている。		
<b>8. その他の事項</b>			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人高松学園		(代表者名： 高松 彰充 )
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460
施設名称及び施設長名	学校法人高松学園 飯田短期大学		(施設長：高松 彰充 )
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460
苦情受付者	氏名 矢澤 庸徳 所属 事務局長	事務担当者	氏名 新海 シズ 所属 地域連携センター
連絡先	TEL 0265-22-4460	連絡先	TEL 0265-22-4467
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,700,000 円
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	300,000 円
	② 分割払 ③ 両方可	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	1,400,000 円 (第1期 700,000 円 第2期 700,000 円 第3期 円 第4期 円 第5期 円 第6期 円) (うち、必須教材費 円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		195,890 円
	① 任意の教材費 (税込額)		62,520 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		0 円
	③ 施設維持費 (税込額)		0 円
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		133,370 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,895,890 円

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（専攻科 助産学専攻）

講座の名称	専攻科 助産学専攻													R6.4			
実施方法	① 通学 ( <input checked="" type="checkbox"/> 昼間・夜間・土日 )													② 通信 スクーリング(回数 回)			
指定講座番号(15桁)	2	0	1	0	0	1	0	-	2	1	1	0	0	1	1	-	5
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間					過去一年の講座実績			入講者数( 6人)				修了者数 ( 5人)				
年月日	R6年3月31日まで																
訓練期間	12ヶ月					総訓練時間			975時間								
1. 教育訓練目標																	
①取得目標とする資格の名称、目標レベル						<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 助産師 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 受胎調節実地指導員											
②①に係る資格・試験等の実施機関名称						厚生労働省											
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等						1年間に在学し、本学学則に定める授業科目および単位数を修得した者(専門教育科目35単位以上修得した者)に対して修了を認定する。											
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況						助産師、看護師 病院、助産院、クリニック、地域保健機関などで、助産業務や保健指導の実施などに活用される。											
2. 教育訓練の内容																	
教科 (カリキュラム)						時間			使用教材名								
学生便覧・授業概要 参照																	
専攻科 助産学専攻科目						975											
						975											
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)																	
①受講するに当たって必要な実務経験等						なし											
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準						①看護師免許取得者 ②大学、短期大学、専門学校において必要な科目を履修し、看護師国家試験の受験資格を有する人、または、当該受験年度においてこれに該当する見込みの人。 ③外国において、学校教育における15年の課程を修了した人で、その最終課程において看護に関する課程を修了した人、または、当該受験年度においてこれに該当する見込みの人。											
③その他																	

〔特記事項〕

※本書の講座実績は、令和4年度の開講状況をもとに作成しています。

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（専攻科 助産学専攻）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1)資格取得状況</b>					
① 前年度の修了者数	5	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	6	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	5	人	受験率(③/②)	83.3	%
④ ③のうち合格者数	5	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	5	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	83.3	%
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。					
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
<b>(2)受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数	5	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計 0	
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	5	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 0	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 5	
	2 希望の職種・業界で就職できる	5	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	5	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 5	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	3	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 5	
	2 おおむね満足	2	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
<b>(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)</b>					
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出、卒業単位を満たすこと				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

飯田短期大学専門実践教育訓練明示書（専攻科 助産学専攻）

6. 受講効果の把握方法													
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。												
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出												
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	1年間在学し、本学学則に定める授業科目および単位数を修得した者(専門教育科目35単位以上修得した者)に対して修了を認定する。												
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと												
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法													
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	質問を随時受け付け、必要に応じた個別指導を行なう。また、演習・実習においては、担当教員による個別指導を行っている。												
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	資格取得のために、教員からの試験勉強に関する講義、助言及び模試の実施。就職については、学生課による求人情報の提供やメール配信、就職相談を随時受け付けている。												
8. その他の事項													
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人高松学園		(代表者名: 高松 彰充)										
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460										
施設名称及び施設長名	学校法人高松学園 飯田短期大学		(施設長: 高松 彰充)										
住所及び連絡先	長野県飯田市松尾代田610		TEL 0265-22-4460										
苦情受付者	氏名 矢澤 庸徳 所属 事務局長	事務担当者	氏名 新海 シズ 所属 地域連携センター										
連絡先	TEL 0265-22-4460	連絡先	TEL 0265-22-4467										
専門実践教育訓練経費 支払い方法	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,700,000 円										
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		300,000 円										
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		1,400,000 円										
③ 両方可能			<table border="0"> <tr> <td>第1期</td> <td>700,000 円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>700,000 円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>第4期</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>第5期</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>第6期</td> <td>円</td> </tr> </table>	第1期	700,000 円	第2期	700,000 円	第3期	円	第4期	円	第5期	円
第1期	700,000 円												
第2期	700,000 円												
第3期	円												
第4期	円												
第5期	円												
第6期	円												
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		179,970 円										
	① 任意の教材費 (税込額)		86,200 円										
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		0 円										
	③ 施設維持費 (税込額)		0 円										
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		93,770 円										
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,879,970 円										